地域まるごとキャンパス

地域まるごとキャンパス 2021

発行：地域まるごとキャンパス事務局　2021年5月　**第01号**

花植えを通して環境美化と地域の関わりを学ぼう！
直富商事㈱

「緑化活動に興味があり参加してみました！」

5月8日（土）篠ノ井山布施にある国道19号沿い直富商事㈱秋古工場に6名の学生が集まりました。

参加学生の大半が初めて顔を合わす中で不安がありましたが、同じプログラムへ応募した緑化活動に興味がある、志が一緒の仲間。すぐに打ち解け安心感が生まれました。

産業廃棄物処理や資源物回収で知られる直富商事株式会社は、さまざまなリサイクル活動などで社会貢献にも力を入れています。その社会貢献活動の一つ「環境美化」の一環として国道19号のボランティアサポートプログラムを長野市の協力のもと、花壇への花の植え替え活動として実施しています。

今回直富商事㈱には、学生にこの花壇のプロデュースをしてもらうプログラム提案をしてもらいました。参加学生は園芸学科などへ通う専門知識を持った学生・・・で、はなく、普通の高校生たち。緑化や美化といった活動に興味はあっても不安の中迎えた第１回目のミーティングでした。

まずは当コンプライアンス室主任であり担内容についての小川和美さんから、直富商事㈱の事業説明。秋古工場内を見学し、ゴミの収集や分別方法の勉強をおこないました。人の手や目を使いながらも風や重さでゴミを分別している機械を見たり、放射線量の計測など普段は知られざる情報まで、丁寧に工場内を回る視察は、まるで社会科見学のような感じでした。

午後からは実際に花壇を見て、６月に実施する植え替えに向けてのデザイン案の作成。「わたし花は詳しいよ」と参加者の一人が名乗りを上げると、他の参加者に安堵の表情が浮かびました。花の色や高さのイメージを伝えると、具体的な花の名前が出てきたことでデザインも進んでいきました。徐々にこだわりもあらわれ、最後には集約に時間がかかりましたが何とか完成。初めて会ったとは思えないほど６人の女子高生はいきいきとしていました。

デスクワークが中心となった第１回。次回は、花の発注と植え替えのための花壇の事前整備をおこないます。今からどのような花壇ができるのか楽しみで仕方がありませんね。